



topics

- ・外国人介護人材の定着状況
- ・定着のための取り組み

2025
8月号

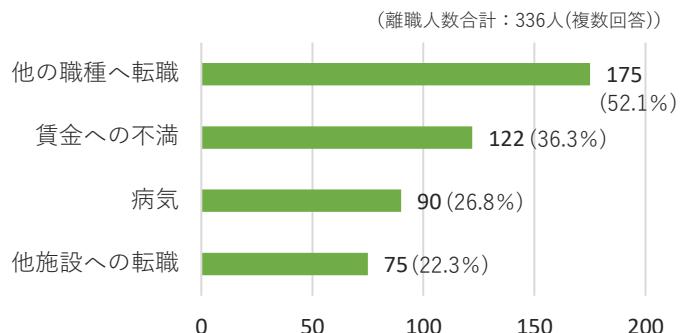
Nuovo Ponte

介護事業者のための人材戦略 ～外国人職員の定着と経営の安定を目指して～

外国人介護人材の定着状況

人材不足の深刻化に対応するため、特定技能をはじめとする外国人介護人材は重要な役割を担っています。しかし、特別養護老人ホームで働く外国人介護人材のうち、過去5年間で離職した人の**52%が介護以外の職種に転職**[※]しています。他業種を選ぶ理由は明らかではありませんが、飲食・清掃業界に流れているケースが少なくないようです。

外国人介護人材の離職理由



※ 令和6年度外国人介護人材定着度調査報告書（全国老人福祉施設協議会）

定着のための取り組み

そのような中で、介護事業者は外国人職員の定着を目指し、様々な取り組みを行っています。



生活・住宅支援

物品貸与や病院への付き添い、法人契約の賃貸住宅、家賃補助などで、生活の不安を軽減。



職場環境の改善

悩みや不満を相談できる体制の整備、希望に合わせたシフト調整、有給取得の推進など。



日本語研修・ICT活用

業務効率化と働きやすさを両立させる取り組みの推進など。

住まい確保の具体例

外国人であることから賃貸住宅を借りられず、**住宅の確保に苦慮するケースが多い**ため、定着支援のなかでも2番目に取り組み数が多い「**住宅補助**」。その具体例を紹介します。

■ 元気村グループ（埼玉）

賃貸契約は法人が締結、初期費用は全額負担。月額約2万円の家賃補助を支給。希望者は寮を利用できる。

■ 社会福祉法人初穂会（千葉・滋賀）

近隣UR団地の活用や地域との協力により、安心して暮らせる住環境を提供。地域活動への参加で信頼関係を構築し、法人で働く外国人職員も地域の一員として受け入れられている。

■ 不動産業界との連携

空き家活用やバディ制度の導入など、行政・不動産業者との連携により、地方でも住居確保が可能に。※バディ：日本のルールやマナーを教えたり、生活上の簡単な相談に乗ったりする日本人ボランティア

【都心部】

法人の賃料負担が大きいため、助成がある場合は利用を視野に入れることを忘れない。

【地方】

特に外国人職員の住居の確保が困難。事業者がグループを組み、行政と連携することも必要。

※ 令和6年度外国人介護人材定着度調査報告書（全国老人福祉施設協議会）

ICT活用で働きやすさと働き甲斐を両立

ICT導入は**外国人介護人材にとって記録が容易になる**だけでなく、そこで働く**全職員の業務効率化・シフト柔軟化・職員満足度向上を実現**できる可能性があります。結果として、離職率の低下や事業価値の向上にもつながるでしょう。

**無料
オンライン
セミナー**

“賃上げ圧力の時代”を乗り切る！ 今こそ知りたい人事制度【全3回】

働きがい・働きやすさを両立しながら、無理なくICTを導入するためのポイントを解説！

第3回

働きがいも効率も手に入る！
辞めない職場をつくるICT活用術
9/18(木) 14:00~15:00

とりあえず
申込む



●こんな方におススメ

- ICTに興味はあるが、活用方法や現場への浸透に不安がある
- 負担軽減や業務の標準化を進めたい
- 人件費の適正化と業務効率を両立させたい

アーカイブ配信あり。都合がつかない方はぜひご利用ください！

【無料】介護・福祉事業の経営や承継相談はCBパートナーズまで！

お問い合わせ

0120-979-544 (9:00~18:00 平日のみ受付)

株式会社CBパートナーズ 〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目18-16 住友浜松町ビル5F <http://www.cb-p.co.jp>

CB PARTNERS